

かとう けいじ
加藤景司株式会社加藤製作所
代表取締役社長超高齢社会に向けて
新しい雇用のあり方を

私どもは、岐阜県中津川市で家電・自動車そして航空機など幅広い金属製品の製造を行ない、今年で創業126年を迎えます。

今から13年前、何とかして売上を上げたい、そのために会社が休みの土曜日曜に工場を稼働させたい、そんな動機が当社の高齢者雇用のきっかけでした。

それでは誰に休日機械を動かしてもらうのか、という一番の課題を解決してくれたのが、働きたいけど働く場所がないという、定年を迎えた地元の高齢者の皆さんでした。

新聞の折込チラシに、「土曜日曜はわしらのウィークデー、意欲のある人求めます！ただし年齢制限あり、60歳以上の方」というキャッチコピーを掲げて求人をしたところ、100名を超えるシルバリーの皆さんが募集に応じて下さいました。私が面接をさせて頂き、最終的には元氣とやる氣と笑顔のいい方を採用したところ、14名全員が製造業の経験ゼロでした。

そんな風にスタートした当社のシルバリー大作戦ですが、現在では全社員の半数近くの52名が60歳以上、最高齢は82歳という皆さんが毎日元氣で働いています。

その明るく生き生きとした姿を見ると、「生きがいと年金プラスの収入の道を提供する」という当初の目標もほぼ達成できたのでは、と自負しております。

社会はみんなで参加し助け合うものです。「働くことの意味」「生きることの意味」を私だけではなく、多くの若手社員がシルバリー社員の仕事への姿勢から教えられています。

人はいくつになっても人の役にたちたい、人に喜んでもらうこと、必要とされるのが健康を保つ秘訣であり、それがすなわち働くことなのかもしれません。

また当社の雇用モデルは、超高齢社会における雇用の新しい形として、国内外のメディアにも注目頂き多くの賞も頂戴致しました。これからも、社員がいつまでも元氣で働ける若手と高齢者の「ベストミックスカンパニー」の実現をめざしていきたいと思います。

1961年、岐阜県中津川市生まれ。愛知工業大学卒業。岐阜車体工業を経て、三菱電機ではシンガポールと米国勤務を経験。88年加藤製作所入社。専務を経て、04年5月に4代目社長に就任。02年度高齢者雇用開発コンテスト厚生労働大臣賞「最優秀賞」、13年経産省ダイバーシティ経営企業100選認定。著書「意欲のある人求めます。ただし60歳以上」(PHP研究所)。
加藤製作所：http://www.katog.co.jp